

一般質問は日曜議会にて実施

7人の議員が登壇 町政を質す

第16回鏡石町議会定例会は6月4日(木)から9日(火)まで開かれ、平成26年度予算の専決処分や6億円を超える22事業の繰越明許等合わせて31の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は2回目となる『日曜議会』で行われ、6月7日(日)に7名の議員が登壇し、町政を質しました。



越事業について議員からは、「資材人材不足等の事情は理解するも、町民の皆さんの生活環境整備の為、より厳正な事業管理を望む」との指摘がありました。

中学校校舎大改修 工事契約を議決

校舎の耐震補強と大改修が予定されている中学校の工事請負契約締結議案は、定例会最終日の6月9日(火)に追加議案として提出され、原案どおり可決しました。

議員発議により

議員報酬条例を改正

今定例会では議員発議により、議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正しました。これにより町議員が任期満了、辞職、除名又は議会の解散によりその職を離れた時、月途中での議員報酬は、当月分までの報酬額ではなく、日割りによって計算された額が支給されることになりました。



岩瀬地方町村議員協議会総会開く

平成27年度の岩瀬地方町村議会議員協議会総会は5月13日(水)午後4時から天栄村役場3階の正庁において開催され、今年度の事業計画や予算が原案どおり可決されました。役員改選では、鏡石町議会の渡辺定己議長が会長に選出されました。任期は2年となります。

発行責任者 渡辺 定己

議長 渡辺 定己

副議長 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己

委員 渡辺 定己



鏡石あやめ祭り撮影会

6月20日(土)・21(日)鳥見山公園であやめ祭りが開かれ多くの方で賑わいました。20日の撮影会にはモデルさんも登場し、シャッター音の雨が降りました。

かがみい 議会だより

No.157
平成27年9月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒989-0401福島県岩瀬郡鏡石町
不崎沼345
電話0248(62)2110
印刷 (有)永山印刷

議案件名等	議案の概要	結果	円谷	古川	菊地	長田	小林	畑	井上川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
専決処分の承認	町税条例の一部改正(軽自動車税額等)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	国民健康保険税条例の一部改正(税額引上げ)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	26年度一般会計補正予算(第8号) (東日本大震災復興交付金基金積立)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	一般会計補正予算(第9号) (3月末の整理予算25,914万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q木原議員「復興トイレ設置工事が減額となったが、どのような理由か」 A総務課長「入札請差による減額である」 Q木原議員「請差は分かるが、当初見積はどのような金額だったのか」 A総務課長「業者の見積を参考に予算積算した」 Q円谷議員「児童手当3千万円減額の理由は何か」 A健康福祉課長「国県において町の当初予算からの増額を認めてないため、当初で10%増額して国県に要求していた」														
専決処分の承認	国保会計補正予算(第5号) (3月末の整理予算2,111万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	後期高齢者医療会計補正予算(第3号) (広域連合納付金減額等により予備費等216万円増額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	介護保険会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算712万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	工業団地会計補正予算(第2号) (土地売却収入により515万円を増額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	駅東第一土地区画整理事業会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算25万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	育英資金貸付費特別会計補正予算(第2号) (寄付金収入により6万円を増額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	公共下水道会計補正予算(第5号) (3月末の整理予算2,017万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	農業集落排水会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算117万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計繰越明許費計算書の報告	原発事故による除染事業及び税番号制度等15事業 60,274万円が新年度での執行となった	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q長田議員「除染事業の進捗と繰越事業の内容説明を求める」 A原子力災害対策室長「繰越内容は一般住宅鏡田西工区等2工区、駅東公園等3公園、農用地、ふれあいの森そして高久田の仮置場等である」														
国保特別会計繰越明許費計算書の報告	国民健康保険事業(社会保障・税番号制度導入事業)の319万円繰越の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療会計繰越明許費計算書の報告	後期高齢者医療事業(社会保障・税番号制度導入事業)112万円の繰越の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計繰越明許費計算書の報告	介護保険事業(社会保障・税番号制度導入事業)の繰越166万円の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東第1土地区画整理事業会計繰越明許費計算書の報告	駅東第1土地区画整理事業(道路築造・宅地造成事業)4,702万円の繰越の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道会計繰越明許費計算書の報告	公共下水道事業4,841万円の繰越額の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計事故繰越し繰越計算書の報告	鉄筋工の不足により遊具、物置等159万円が新年度での執行となった事故繰越しの報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道会計予算繰越計算書の報告	配水管布設事業工事遅延により5,502万円が新年度での執行となった予算繰越しの報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部の改正	国民健康保険税賦課額算出方法及び率の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部改正	介護保険料減額賦課に係る保険料率の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員選任同意	固定資産評価審査委員会委員に斎藤栄治氏(岡ノ内)を選任することの同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27年度一般会計補正予算(第1号)	子育て世代臨時特例給付金及び観光力づくり支援事業補助金に関する福祉、観光事業3,220万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27年度国保会計補正予算(第1号)	国民健康保険特別会計歳入歳出財源の組替及び1,901万円減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦	人権擁護委員に高島民子氏(本町)を推薦することの同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
被災者児童生徒就学支援事業継続を求める陳情	東日本大震災に係る「被災者児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	町議員が任期満了、辞職、除名又は議会の解散によりその職を離れた時、途中で議会の議員報酬は、日割り計算によって支給するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中学校校舎耐震補強・大規模改修工事請負契約の締結	中学校校舎耐震補強・大規模改修工事請負契約の締結 契約金額 268,920,000円 契約相手 高田工業株式会社 須賀川支店	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q円谷議員「入札の額が整然とすすんでいる。談合防止の備えはどうなっているか」 A教育課長「制限付一般競争入札によって広く業者を求めている。また、指名委員会により業者の審査も行っている」 Q円谷議員「入札について抜本的に検討する必要がある。工事の管理業務は、どうなっているのか」 A教育課長「福島県建築設計協同組合に委託する予定である」														
被災者児童生徒就学支援事業継続を求める陳情	「被災者児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

- 福島DC等の実績をどう生かすのか
- 鳥見山人口芝張り替え等の財源は
- 4号線拡幅による迂回路対策を

菊地 洋議員

質問

4月の桜ウオーク、JR東日本の駅からハイキングそして5月の田んぼアート田植の集客は、昨年と比較してどうであったか。経済効果はあったのか。

産業課長

桜ウオークには200名、田植イベントには300名を超える参加者があった。町の魅力発信と賑わいの創出等、地域ブランドの確立に向けた影響力の大きい事業だったと感じている。経済効果は数字ではとらえていないが、飲食店を中心に田んぼアートを見に来た。グルメマップを持参して来店した等の声が寄せられている。

質問

福島DCも昨年と本年実施され、町としてもタイアップして観光事業を展開したが、来年以降どのようなものを考えているのか。

産業課長

駅東のグリーンロード花壇や鳥見山公園といった花の魅

力によるリピーターそして、田んぼアート田植イベント等の着地型観光を考えている。

質問

岩手県紫波町には地域活性化をコンセプトにしたオガールプラザというものがあり、公民連携で年間80万の交流人口があるようだ。当町でも駅舎にある商工会事務所が2階に移ると決まったが、1階はどのように有効活用するのか。

町長

私の公約に掲げる駅に降りてみたい、降りたら歩いてみたいそして住んでみたいという町づくりのきっかけになるように、例えば以前あった力ンカン館を発展させたようなものを考えたい。

質問

昨年再オープンした鳥見山多目的広場の人工芝のメンテナンス及び財源は、どのように考えているのか。

教育長

年に一度のメンテナンスは50万程度と見込んでいる。耐

用年数は約10年と言われているが、張り替え工事は約1億円と見込んでおり、国等の補助金と併せ基金積み立て等の対策を考えたい。

質問

鳥見山公園各施設の維持のために、看板広告等の募集は考えられないか。

教育長

広告看板は、中核都市等でも応募者がなかなか集まらないようだ。看板設置費は施設側が負担することを考えると、現時点での事業化は難しい。

質問

壁面有料広告を安価で、行政側の負担を少なくして行っているところもあるので、検討してはどうか。

教育長

施設の命名権をお願いするという方法としては考えられる。今後検討したい。

質問

国道4車線化により岡ノ内

右折交差点が無い地区が出てくる。現在使用されている未舗装道路もあるが、ここを整備できないか。

都市建設課長

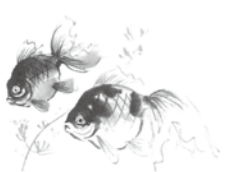
県からの指導により当該道路の開放は難しいと考えているが、現計画の回転路の事業効果を検証したうえで、次のステップに進みたい。

質問

高久田一貫線については、何人もの議員が何度も質問しているが、須賀川市との協議は進んでいるか。

町長

現在町から新たなルートの提案をした。須賀川市からも提案が出され、協議検討を行っている。いずれにしても、須賀川市の誠意ある対応を望みたい。





今泉文克議員

- 町づくりに女子力を活用すべき
- 高齢者福祉施設の設置計画を
- 乳幼児と周産期医療の対策は
- 駅東の早急な推進を

質問 これからの町づくりに、女性の視点や意見が必要だと感じる。女子力の活用を推進すべきと思うが、地方創生推進本部には女性が入っているか。町職員の男女構成比はどうなっているのか。

総務課長 地方創生本部に女性のメンバーは、いない。職員は百名いるが、女性は20%程度となっている。

質問 町・人・仕事創生総合戦略という新しい町づくりに女性がゼロというのは、どうなのか。これからでも増員して入れるとか、何らかの下部組織に女性の意見をまとめる組織をつくる等、行政執行に女性の意見が反映するようにできないか。

総務課長 地方創生推進本部のワーキンググループは、若い人を中心に選出している。今後、女性だけの組織についても検討したい。

質問 町内には特老施設の待機者が多いと聞くが、何人いるのか。高齢化社会対策として施設拡充を図るべきではないか。

健康福祉課長 特老施設の入所待機者は79名いるが、ここ3力年の間に須賀川岩瀬管内で30床の増床計画がある。

質問 若者が住みやすい環境とするには、雇用と子育ての場が重要であり、周産期医療と小児地域医療支援は特に大事だ。こうした医療と健康政策について推進すべきではないか。

町長 現在、公立岩瀬病院に産婦人科を開設する計画を進めている。近隣市町村が連携し、周産期医療及び小児科医療を確立させ、安心して産み育てる環境づくりを進めたい。

質問 がこちらへ来たいということも聞いたが、これらに対する早急な対応をすべく、宅地造成を推進してはどうか。

町長 現在のところ、避難者の移転については難しいと考えている。大熊や双葉からは個人的に、当町に建築している方もいるようだ。

都市建設課長 駅東の第一工区は、災害公営住宅用地の売却代金を資金に事業推進してきた。今後工区内にある保留地を売却して事業資金を確保し、事業を推進したい。

質問 第一工区内には27年度中には何区画できるのか。そういう具体的な数や計画が分かるようになる、紹介の話もしやすくなる。

質問 区画整理地内には26haの準工業地域があり、オーダメイド方式の開発を考えているようだが、今の経済状況では難しいだろう。抜本的に考えを変えて、早急な誘致を計画すべきでないか。

町長 住宅地の中での準工業では、難しい点があると認識している。今後前に進むか、後ろに下がるのか、検討したい。

質問 町が先行取得した用地は販売見通しが不明で、塩漬け状態であり、町にとっては大きな損失である。もし、来る企業があれば土地を提供するといった大胆な施策は考えられないか。塩漬けの金利を支払うより、誘致企業の税が入った方がよいのではないか。

町長 10haの町有地は事業地内に点在しており、間に民地もあるため、まとめるための方策が必要となる。まずは、今後事業をどうするのか考えたい。

- 児童館の幅広い活用を
- 滞在時間を延ばす観光目指せ
- 岩瀬牧場支援策はあるか



長田守弘議員

質問 第一小学校敷地内に児童ふれあい交流館が建設されたが、駅前の児童館の現在の利用状況はどうなっているのか。

健康福祉課長 児童ふれあい交流館の開館に伴い、放課後児童クラブは児童館から交流館へ移った。児童館では主に集いの広場事業で活用しているほか、民間の育児サークルにも開放している。集いの広場では3月末で延べ466名の親子が、また、民間の育児サークルでは延べ381名の親子が利用している。

質問 各事業の日程的なものはどうなっているか。児童館は、子育て支援以外の事業では使えないのか。

健康福祉課長 集いの広場は週3日、午前10時から午後4時まで、育児サークルは月に約3回程度となっている。児童館なので、その建設目的以外には利用していない。

質問 児童館建設に係る起債償還は、現時点でも未償還部分があるのか。

質問 児童館は平成7年度に建設されているが、補助金が多く地方債の借り入れは無かったか。

総務課長 児童館の補助金は国民の税金であり、原則として目的どおり使用すべきものであるが、近年は国も柔軟な姿勢を示してきている。

質問 施設としては児童館以外にも駅コミセンとしての利用や耐震問題のある二区集会所等として利用してはどうか。

町長 放課後児童クラブはふれあい交流館で行われているので、児童館の目的外使用については可能だと考えている。

質問 田んぼアートは約4か月間催され期間が長く、来場者も多い。観光資源としては非常に有効である。観覧来場者の交通手段は、どのような内訳になっているのか。

産業課長 田んぼアートによる来町者の交通手段は約90%が自動車、徒歩・自転車7%、電車が3%となっており、自動車が大半である。

質問 田んぼアート観覧は約15分とすると、滞在時間としては短い。町内でもう少し滞在時間を延ばし、点から線の観光事業として、経済効果も得られるような取り組みを考えているか。

産業課長 田んぼアート観覧は約15分とすると、滞在時間としては短い。町内でもう少し滞在時間を延ばし、点から線の観光事業として、経済効果も得られるような取り組みを考えているか。

産業課長 滞在時間を延ばす着地型の観光事業として田植え、稲刈りウオーキング、これに鳥見山公園等の桜やアヤマメそして岩瀬牧場やオランダ祭り、それぞれ組合せて観光事業を充実したいと考えている。

質問 町の観光資源の中心は岩瀬牧場だと思うが、震災で建物に傷んでいるようだ。町としての支援策はあるのか。

産業課長 岩瀬牧場は町としてもPRに努めている。今後も各種イベントとの連携やPR広告等の支援を考えている。

質問 タイアップ事業も良いが、岩瀬牧場は民間企業なので支援も限界がある。敷地の一部、文化財等の部分だけでも町で購入する考えはないか。

町長 可能性が無い訳ではないが、用地の多くは須賀川市となっているため、難しい。ただし、考えられない事ではないと認識している。





木原秀男議員

- 大震災の復興は終わったのか
- 復興モニュメントは早過ぎなかったか
- 町の役職員の事故はどうなるのか
- 感電ブレーカー必要性の広報を

一般質問

質問 住宅除染については全体の約15%が終了した。公共施設は、ほとんど終了した。

質問 いまだに福島県産というレッテルを貼られただけで、農産品が色々差別被害を受けているようだ。これは風評被害ではないか。

総務課長 原子力災害対策室長

質問 道半ばであれば復興は終わっていないと思う。町全体の除染は何%終了したのか。

質問

町長 震災から4年、公共施設等は新増設及び修繕し、復旧事業は大半終了したが、除染は28年度終了に向けて作業中であり、復興については道半ばと考えている。

町長

質問 町長は「復旧事業は終わった」と言っているが、町民は原発問題等と兼ね合わせて大震災と考えており、除染が終わらなければ、震災も終わっていないと思うがどうか。

質問

産業課長 風評被害については依然として大きなものがあると感じる。農産物も原発事故以前の水準までは回復していない。風評被害に対する各種事業は継続している。

産業課長

質問 東日本大震災復興シンボルモニュメントは早すぎないか。復興も終わったのか。

質問

町長 このモニュメントについては、震災から4年の間、町民の皆さんの絆で支え合って復旧復興を進めてきたこと、震災の教訓を後世に伝え、町づくりを進めていこうというものである。復興が終わったということではない。

町長

質問 町では、高齢化社会になり膨らむ医療費の抑制について、取り組んでいるか。

質問

税務町民課長 医療費の増加要因には高齢化や医療の高度化等が考えられるが、高度化については医

税務町民課長

質問 ふるさと納税について、全国のデータを集めて出版しているものがあり、納税額によって景品を変えているものが紹介されている。理屈で言えば、景品欲しさということになるが、実際のところ、より多くの納税をしてもらうためには重要なのではないか。

質問

総務課長 インターネット等を見ると、最高50万から10万刻みで返礼品が示されていた。国では過熱傾向に懸念を示しているが、町でも1万円に対して3千円相当の返礼品を送っている。特産品PRとして今後、さらに研究したい。

総務課長

質問 農業の6次化について、現在までの実績と今後の取組みは、どのようになっているか。

質問

産業課長 観光協会を通じて牧場の粟や米粉パンを開発した。昨年は研修会を実施し、本年は事業者に対する補助事業を予算化している。

産業課長

質問 道の駅は旅の途中での休憩場所からレジャー基地へと進化してきている。町おこしや高齢農家の収入源とするためにも道の駅を設置すべきでないか。

質問

町長 道の駅が農産物の販売拠点として農家の所得向上や地域経済に有効であることは、十分認識している。地域産業の動向を見ながら検討すべきと考えている。

町長

質問

安達町では国道4号線の上下線で設置し、活気を呈している。資金的に大変であればイオンの一角か、ドライブイン跡地等を利用して、小さく産んで大きく育てるような構想で始めてはどうか。

町長

町内には、はたけんぼやイオンに關係している農家もある。こうした状況も踏まえて検討する必要がある。いわゆる小さく産んでということでは、やはりカンカン館と結び

付けて検討することが大事だと考えている。

質問

成田幼稚園跡に開設された歴史民俗資料館について、隣の体育館を補強して規模を拡充すべきでないか。例えば杉戸絵にしても、せっかく本物があるのに写真展示のみとなっている。

教育長

旧二小体育館は区で利用する神輿等が保管されており、資料館として利用する場合は大規模な改修が必要となる。資料館については、適宜展示物の入れ替え等を行い、活性化に努めたい。

質問

成田は学校や幼稚園が無くなってしまった。時代の流れもあるが、そうした意味も込めて歴史民俗資料館を増築してはどうか。

教育長

時として郷土の歴史、先人の心や土地の良さを見失ってしまうことが無いわけではな

い。町の歴史が見える営々と暮らしてきた人々の様子が分かるように今後、資料館を充実させたい。

質問

高久田一貫線の行き止り解消として、須賀川からの東部環状線に接続することは出来ないか。

町長

須賀川市との協議の中で、須賀川市は新たに町道を整備して交差点に接続するよう求めている。こちらとしては須賀川市道を整備して一貫線に接続するよう求めている。現在調整中である。

質問

駅東開発について、中学校前の県道沿いが何故施行されないのか。その前は多くの車が通行している場所である。早急に工事すべきでないか。

町長

私の近所でもあり、地権者とはお互いに良好な関係にある。工事施工については、しっかりと対応したい。

総務課長

災害発生時に停電すると使えないため、発電機等で対応できる簡易的な照明を検討している。

質問

AEDが設置されているのは中心部の公共施設であり、もっと一般的に設置すべきでないか。

総務課長

救急医療財団等のガイドラインに沿って設置したが、設置個所を増やすよう検討する。

質問

神戸の震災でも、感電ブレーカーが設置されたところは火事にならなかったようだ。設置を推進すべきでないか。

総務課長

神戸では一旦火がおさまった後、通電して火災が発生したことがあったようだ。火災報知器と同じく、感電ブレーカーの必要性についても今後広報したい。

- ふるさと納税を拡充強化すべき
- 道の駅「小さく産んで大きく育てる」
- 歴史資料館に旧二小体育館も
- 高久田一貫線を東部環状線へ



円谷 寛議員

質問 道の駅は旅の途中での休憩場所からレジャー基地へと進化してきている。町おこしや高齢農家の収入源とするためにも道の駅を設置すべきでないか。

質問

総務課長 インターネット等を見ると、最高50万から10万刻みで返礼品が示されていた。国では過熱傾向に懸念を示しているが、町でも1万円に対して3千円相当の返礼品を送っている。特産品PRとして今後、さらに研究したい。

総務課長

質問 農業の6次化について、現在までの実績と今後の取組みは、どのようになっているか。

質問

産業課長 観光協会を通じて牧場の粟や米粉パンを開発した。昨年は研修会を実施し、本年は事業者に対する補助事業を予算化している。

産業課長

成田幼稚園跡に開設された歴史民俗資料館について、隣の体育館を補強して規模を拡充すべきでないか。例えば杉戸絵にしても、せっかく本物があるのに写真展示のみとなっている。

質問

旧二小体育館は区で利用する神輿等が保管されており、資料館として利用する場合は大規模な改修が必要となる。資料館については、適宜展示物の入れ替え等を行い、活性化に努めたい。

教育長

成田は学校や幼稚園が無くなってしまった。時代の流れもあるが、そうした意味も込めて歴史民俗資料館を増築してはどうか。

町長

町内には、はたけんぼやイオンに關係している農家もある。こうした状況も踏まえて検討する必要がある。いわゆる小さく産んでということでは、やはりカンカン館と結び

付けて検討することが大事だと考えている。

質問

成田幼稚園跡に開設された歴史民俗資料館について、隣の体育館を補強して規模を拡充すべきでないか。例えば杉戸絵にしても、せっかく本物があるのに写真展示のみとなっている。

教育長

旧二小体育館は区で利用する神輿等が保管されており、資料館として利用する場合は大規模な改修が必要となる。資料館については、適宜展示物の入れ替え等を行い、活性化に努めたい。

質問

成田は学校や幼稚園が無くなってしまった。時代の流れもあるが、そうした意味も込めて歴史民俗資料館を増築してはどうか。

教育長

時として郷土の歴史、先人の心や土地の良さを見失ってしまうことが無いわけではな

い。町の歴史が見える営々と暮らしてきた人々の様子が分かるように今後、資料館を充実させたい。

質問

高久田一貫線の行き止り解消として、須賀川からの東部環状線に接続することは出来ないか。

町長

須賀川市との協議の中で、須賀川市は新たに町道を整備して交差点に接続するよう求めている。こちらとしては須賀川市道を整備して一貫線に接続するよう求めている。現在調整中である。

質問

駅東開発について、中学校前の県道沿いが何故施行されないのか。その前は多くの車が通行している場所である。早急に工事すべきでないか。

町長

私の近所でもあり、地権者とはお互いに良好な関係にある。工事施工については、しっかりと対応したい。

総務課長

災害発生時に停電すると使えないため、発電機等で対応できる簡易的な照明を検討している。

質問

AEDが設置されているのは中心部の公共施設であり、もっと一般的に設置すべきでないか。

総務課長

救急医療財団等のガイドラインに沿って設置したが、設置個所を増やすよう検討する。

質問

神戸の震災でも、感電ブレーカーが設置されたところは火事にならなかったようだ。設置を推進すべきでないか。

総務課長

神戸では一旦火がおさまった後、通電して火災が発生したことがあったようだ。火災報知器と同じく、感電ブレーカーの必要性についても今後広報したい。